



富高通信

9月の予定	
1	水 追認考査2
2	木
3	金
4	土 土曜課外③中止
5	日
6	月
7	火
8	水
9	木
10	金 ベネッセ駿台共通テスト模 試③13日に延期
11	土 ベネッセ駿台模試③ スタディーサポート①②自 宅で実施
12	日
13	月 代休→授業日
14	火 芸術鑑賞教室中止
15	水 第2回マナーアップ
16	木
17	金
18	土 学校説明会(市内中学 生対象)→なし
19	日 学校説明会(市外中学 生対象)→検討中
20	月 敬老の日 看護医療模試(希望者)
21	火 代休→検討中
22	水
23	木 秋分の日
24	金 校内合唱コンクール① →3月に延期
25	土 土曜課外③
26	日
27	月
28	火
29	水
30	木

「今できることを」

校長 関口 博士

新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、群馬県も緊急事態宣言の対象地域に追加されました。2学期の始業式以降、9月12日までは分散登校を行い、部活動は休止することになります。今までも、感染防止対策に協力してもらいながら、様々な制約がある中でも、授業や学校行事、部活動などに積極的に取り組んでくれていることをありがたく思っています。

今後は、今まで以上に感染防止対策を徹底する必要があり、そのために、部活動をはじめとした様々な活動を制限せざるを得ない状況にあります。こうした状況にあって、日々できることを着実に実施していくことが、今まで以上に大切なことだと思っています。学校としても、感染防止対策を行いながら、授業をはじめとした教育活動を継続していきたいと考えていますが、一人一人が感染への警戒感、危機感を強く持って、感染防止に留意して学校生活を送ってほしいと思います。

「千里の行も足下より始まる」ということを繰り返し伝えていますが、このようなときだからこそ、今できることを疎かにせず、日々、歩み続けることが大切だと思っています。先の見通せない不安もありますが、日々の生活を大事にして、それぞれの目標に向けて、今できることは何かを考え、今やるべきこと、今できることにしっかりと取り組んでいきましょう。

「まさか」に備えた心構え 保健・教育相談部 茂原 賢三

この原稿の執筆依頼を7月28日に頂いて、実は7月29日には完成していたのですが、8月に入って警戒度が上がり、蔓延防止措置そして緊急事態宣言と相次いで私たちを取り囲む諸々も情勢が急激に変化してしまったため、7月29日に完成していた原稿を破棄して、改めて書き直しになってしまいました。夏休み開始した頃には、群馬県の警戒度が下がり、「本来の夏休みの活動ができるかなあ」と期待していたのですが、この急激な情勢の変化はホントに「まさか」の一言に尽きます。

しかし、昨年来のコロナ渦で、私自身も、「まさか」という思いもよらない急激あるいは衝撃的な変化に馴れてきたせいか、「まさか」の出来事に対しても「まあ、仕方ないか」と受け容れられるようになりました。

今後も、コロナ渦の影響で想定外のことが起こるも考えられます。これだけでなく、生徒の皆さんの今後の高校生活、そして今後の長い人生の中でも「まさか」の出来事に遭遇することは十分あり得ます。

「まさか」の出来事に遭遇すれば、誰も悩んだり苦労したりすることがあるでしょう。その一方で「まあ、仕方ないか」と受け容れられる、受け止められるようになると、僅かではあるけれども、ストレスが軽くなって心穏やかに日々を過ごせるようになるかもしれません。

今から「まさか」の際に備えた心構えについて馴れておくことをお勧めしますが、いかがでしょうか？

「いよいよ勝負！」

臨戦態勢に入れ！ 3学年主任 三浦 昭久



多くの部で最上級生としての活動を終了し、次への目標に切り替えて過ごした夏休み。そこでどのように成長・変身したでしょうか？ これからは進路を決める戦い。校内でなく、全国のライバルとの戦いが始まります。すぐに戦いが始まる人・・・準備は万全ですか？

年明けに始まる人・・・秋の模試で方向が決まります・・・準備は万全ですか？

いずれにせよ、今が大切。「一生の中でいちばん勉強した夏～秋」と言えるようにしましょう。